

伊方原発 5千人はどうか避難

農業

(愛媛県 81)

四国電力伊方原発3号機(愛媛県伊方町)の再稼働が、予定より遅れて8月以降になるといふ。伊方原発は東西に細長い佐田岬半島の付け根にあり、私は原発から30^キ圏内、半島西端近くに暮らす。

原発事故の際は、半島を東西に貫く国道197号を使い、西側にある三崎港から船で大分に避難するとされてきた。巨大地震が起きれば、三崎港周辺には21筋の津波が想定されている。国道に多数あるトンネルや橋は崩落し、港のフェリー棧橋は壊れるであろう。

昨年11月には、地震による原発

事故を想定した避難訓練があった。三崎港から大分へ、フェリーと自衛隊の船を使って行われたが、課題があらわになった。避難計画に愛媛県内への海路が加わるなどしたが、避難に関する議論はつくされたと言えるのか。事故が起これば、原発から西に暮らす5千人の住民はどうかすればよいのか。

熊本では、大地震から3カ月経った今も揺れることがある。伊方原発の近くには中央構造線断層帯が通っているが大丈夫なのか。原発事故が起きれば、放射性物質が周囲の海を汚染するだろう。宝の海が死んでしまうのか。伊方原発は本当に安全なのか。